

An aerial photograph of Takamatsu, Japan, showing a dense urban area with numerous buildings and a large harbor with several piers and ships. The city is surrounded by green hills and mountains in the background.

# 自立相談支援事業における 「すまい」の相談について

**自立相談支援センターたかまつ**  
**北岡 万由美**

R6. 12. 16

# 高松市の紹介

- ・人口 409,266人 ・世帯数 192,536世帯
  - ・面積 375.67km<sup>2</sup> ・人口密度 1089.4人/km<sup>2</sup>
- (2024.11.1現在の推計)

四国の中枢管理都市として発展を続けてきた海に開かれた都市。明治の廃藩置県後、香川県の県庁所在地となり、明治23年2月15日に市制をしく。

四国の中枢管理都市として発展。特に昭和63年の瀬戸大橋開通や平成元年の新高松空港開港、平成4年の四国横断自動車道の高松への延伸などにより高松市を取り巻く環境が大きく変化する中、平成11年4月、中核市に移行する。

「活力にあふれ 創造性豊かな 瀬戸の都・高松」を目指している。

**グルメ:**なんといっても、うどん王国！瀬戸の魚介類も！

**観光:**天下の名園「栗林公園」、「日本有数の水城、史跡高松城跡(玉藻公園)」、「桃太郎」伝説の「女木島」、源平の古戦場の「屋島」のほか、日本一長いアーケード街も



◆総合センター	7圏域
◆コミュニティ協議会	44地区
◆地区社協	44地区
◆地区民児協	43地区
◆連合自治会	46地区

# 自立相談支援センターたかまつの業務

関係機関・団体  
(多制度との連携)

【人員体制】 (R6.11.1現在)  
社協職員 13名  
内訳：自立相談支援員 (主任含む)  
就労支援員  
家計改善支援員  
事務担当など

## 生活困窮者自立支援事業

◆ 自立相談支援事業(相談支援業務)

◆ 就労支援

就労準備支援

認定就労訓練

生活保護受給者等就労自立促進事業

◆ 家計改善支援事業

◆ 住居確保給付金相談支援事業

◆ 無料職業紹介事業

相談者の状況に応じた支援

## 生活福祉資金貸付事業

◆ ◆総合支援資金 ◆福祉資金

コロナ特例(R4.9.30終了)

総合支援資金、緊急小口資金

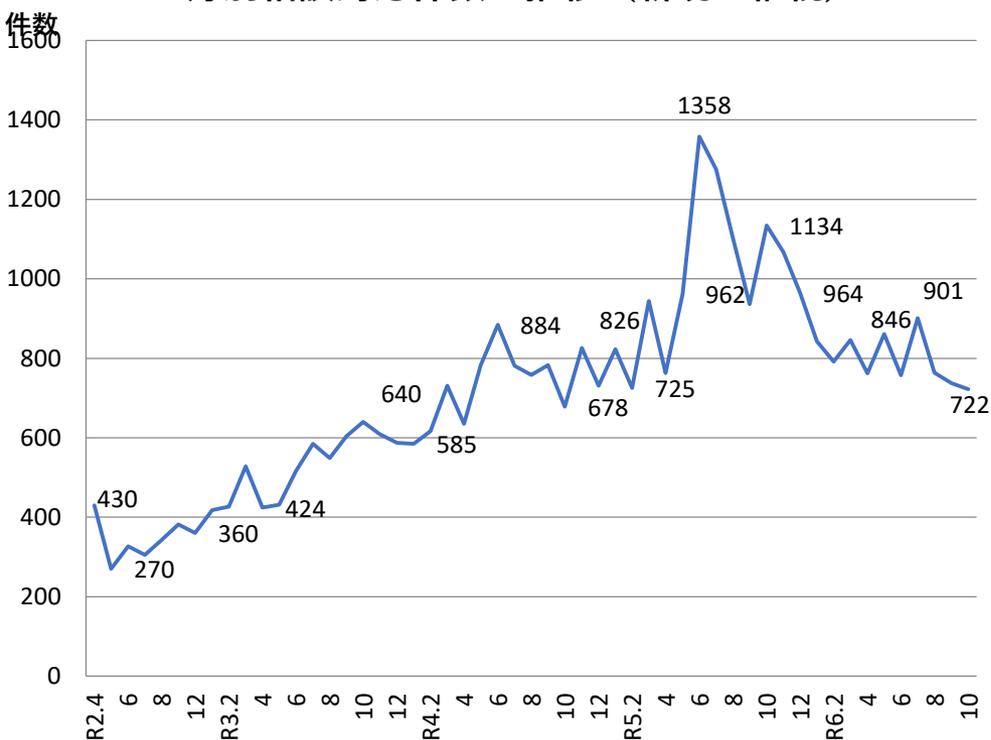
◆ 教育支援資金

◆ 不動産担保型生活資金

フードバンク ⇒ 食料支援

# 相談実績の推移(自立相談支援センターたかまつ)

## 月別相談対応件数の推移(新規・継続)



## 自立相談支援実績の推移

年度		平成28	平成29	平成30	令和元	令和2	令和3	令和4	令和5	
新規相談受付件数(総数) ※本人特定のみ		554	592	606	579	523	677	837	834	
プラン作成件数(総数)		115	89	93	134	162	211	203	406	
就労支援対象者数 (プラン期間中の一般就労を目標にしている。)		89	48	55	48	120	121	119	142	
利用した事業等	住居確保給付金	29	9	14	13	74	73	37	13	
	就労準備支援事業	0	1	4	6	0	0	1	2	
	就労訓練事業	0	0	1	0	1	0	0	1	
	その他	自立相談支援事業による就労支援	90	48	54	54	119	123	121	148
		生活保護受給者等就労自立促進事業	90	43	37	36	82	102	97	127
生活福祉資金による貸付		22	16	26	34	61	52	31	181	
家計改善支援事業(3年度~)							9	41	90	
プラン作成対象者中の就労者(増収者含む)数		20	42	23	44	20	59	60	72	

### ● 相談支援の状況

- ・物価高騰等の影響による複合的な課題を抱えた生活困窮者の増加
- ・特例貸付や生活困窮者自立支援金の申請受付終了による増加
- ・特例貸付償還開始に伴うフォローアップ支援開始による増加
- ・償還免除の対象とならない借受人に対する支援による増加

# 事例

## 一人暮らしを希望する単身高齢者

### 支援のきっかけ(県社協から自立相談支援センターに相談)

高齢者施設の相談員から県社協へ相談があり、その後当該センターに相談があった。  
入居者の方で地域で生活したい希望者がいる。単身者であり、連帯保証人や緊急連絡先がなく、本人の身元証明書や携帯電話がないため賃貸契約を結ぶことができず、困っている。

### 本人の状況

70歳代 高齢者施設に入居中  
年金は月5万円。預貯金は70万円ある。  
市外から施設に入所しており、家族等支援者はいない。

### 課題

- ・一人暮らしをしたいが、保証人がおらず身元証明書や携帯電話もない。
- ・貯金がなくなれば、年金だけでは生活できない。
- ・施設の生活なので、階段や段差のある生活がイメージできない。
- ・家事や地域での活動がどこまでできるの不安

4年前に市外から施設へ入居した。  
がんの手術歴はあるが、今は体調は落ち着いている。  
このまま施設で生活するより地域で一人暮らしをしたい。  
頼れる親族友人はいない。



## 支援の流れ

一人暮らしの準備を行う。

- ・身元証明書の作成
- ・携帯電話の契約

一人暮らしの家を探す。

- ・社協事業で県営住宅への入居支援を検討する。

↓

階段の利用が難しく県営住宅の入居を諦める。

- ・理解のある大家さんに依頼して賃貸契約を結ぶ。

一人暮らし開始

- ・引っ越す
- ・公共料金の支払いの手続き

一人暮らし開始後

- ・介護保険の利用を検討
- ・家計改善支援事業の利用(支払い状況の確認や収支の確認)

## 現在の状況

介護保険の利用を開始  
家計改善支援事業の継続支援  
預貯金がつきれば、生活保護の申請

→ 状態が安定

## 支援によってみられた変化

住まいの確保・安定  
自立意欲の向上や改善、心の安定  
介護保険の利用開始



## 自立相談支援センターたかまつ



ご清聴ありがとうございました。



市社協イメージキャラクター  
なごみちゃん